



磐田市 洪水ハザードマップ

(想定最大規模降雨)

このハザードマップは想定し得る最大規模の降雨による浸水想定と深さ、避難場所などの情報を示したもので、避難ワークシートとしても活用できます。いざという時に備えて、家族や近所の方と避難場所や避難の方法を話し合ひましょう。

我が家の防災情報

家族の避難場所	
①	
②	

我が家の状況	
我が家の浸水深は？ m
我が家の浸水継続時間は？ 時間
我が家は家屋倒壊等氾濫想定区域か？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

自宅から避難場所までの経路を確認しましょう

日常時において、自宅から、最寄りの避難場所までの避難経路、移動にかかる時間、道路の冠水が想定される地下道等の危険箇所等を確認し、安全、迅速に避難できるように、地区別の地図を活用しましょう。

作業の手順

手順1
地図上の、自宅がある位置に「①」、最寄りの避難場所に赤字で「①」と書き込んでください。

手順2
「①」から「①」までの移動経路や距離、移動時間を書き込んでください。

手順3
避難時に危険箇所を可能な限り通らないよう、「×」等も書き込んでください。

- 自宅以外の場所でも、②、③...等を使い、手順1~3を繰り返し、避難場所や避難経路を確認してください。
- 避難経路は、移動手段（徒歩、自家用車等）によって複数の経路を確認してください。
- 移動時間は、降雨の状況もふまえ、余裕をもった移動時間を書き込んでください。

発行：令和4年3月 問い合わせ先：磐田市危機管理課 0538-37-2114

風水害について

気象庁による気象情報

大雨による災害のおそれがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。防災気象情報が出されるタイミングやその意味するところを理解し、いざというときの避難に備えましょう。

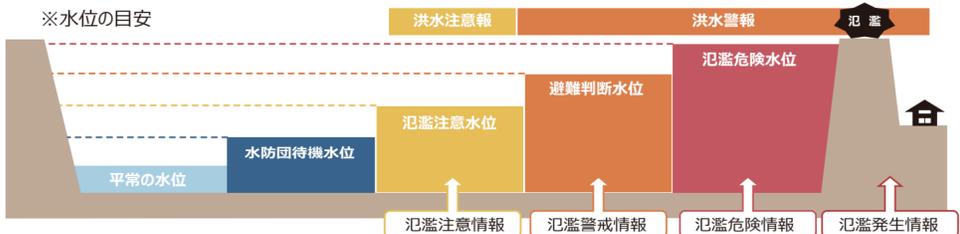


警報・注意報等	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報	記録的短時間大雨情報
	警報になる可能性がある大雨や洪水によって災害の発生のおそれがあると予想される場合	大雨や洪水によって重大な災害の発生のおそれがあると予想される場合	土砂災害の危険度がさらに高まった場合に発表避難情報などの発令、住民の自主避難の判断等の目安となる情報	数十年に一度の大雨となるおそれ大きいときに発表	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに発表

河川水位

主要な河川が氾濫するおそれがある場合、洪水予報が発表されます。国管理河川は気象台と国土交通省が、県管理河川は気象台と県がそれぞれ共同して予報を出します。

※水位の目安



土砂災害の種類

大雨などの際、たとえ避難に関する情報が発令されていなくても、近隣の斜面の状態に常に注意し、次のような前兆現象に気がついたときには直ちに安全な場所に避難してください。避難場所に避難することが危険な場合は、上階がけから遠い部屋に急いで移動してください。

土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるもの。

【前兆現象】近くで山崩れが発生する、立木の裂ける音がする、渓流の水が急にこぼる



がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちること。

【前兆現象】斜面に亀裂が走る、小石が斜面から落下する、斜面から異常な音がする



地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のこと。

【前兆現象】地鳴り、家鳴りがする、地面が振動する、亀裂や段差が発生する



天竜川のハザードマップ

この図は、天竜川の洪水予報区間について、想定し得る最大規模の降雨による浸水想定範囲と浸水時に想定される水深を表示した地図です。

指定の前提となる降雨は、天竜川流域で48時間の総雨量が52.6mmを想定しています。(H28.12指定)

* なお、洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても状況によって浸水が発生する場合や想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。

* 「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、洪水時に、家屋の流出・倒壊をもたらすような激しい氾濫が発生するおそれがある区域です。このため、災害時には、避難情報などに従って当該区域から安全な場所に、速やかに・確実に避難してください。

凡例

指定緊急避難場所

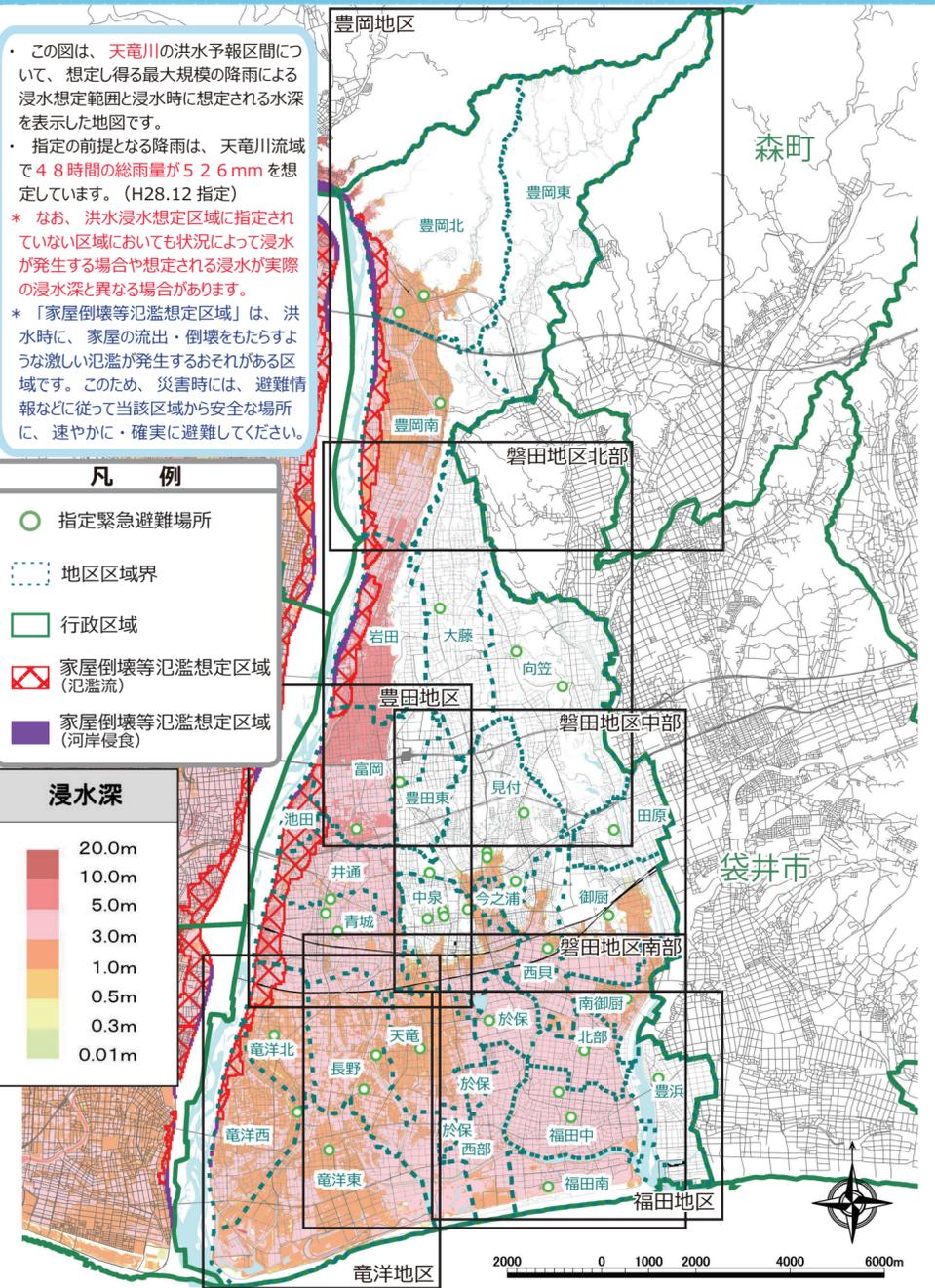
地区区域界

行政区

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深



防災・避難情報の入手

防災情報を入手する

防災情報は、テレビやラジオ、インターネットなどいろいろな方法で受け取ることができます。そのほか、緊急速報メール^{*1}や同報無線^{*2}でも情報が提供されます。

メールで入手 e-mail

いわたホットラインに登録しましょう

・携帯電話やパソコンなどのメール機能を利用して、情報発信。

手軽に入手

データ放送を活用しましょう

・テレビデータ放送で、天気や、防災情報を入手。

インターネットで入手

磐田市 防災リンク集

https://www.city.iwata-shizuoka.jp/bousai_anzen/1001210.html (ページ番号「1001210」)

・防災に関するホームページリンク集。

総合防災アプリ「静岡県防災」

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

・豪雨等による災害発生前の避難行動を促す各種緊急情報の通知など。

サイボスレーダー

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>

・ピンポイント天気予報、防災情報、雨量・水位などをリアルタイムで提供。

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

・気象庁のホームページ上で、さまざまな気象情報を提供。

*1 気象庁が配信する津波警報、国土交通省が発する洪水情報、国や地方自治体が配信する災害・避難情報など緊急を要する情報を、特定エリアの携帯電話へ同報配信するシステム
*2 気象情報などの防災情報を市内に放送する無線

市からの情報と避難行動

災害の危険が迫って住民の避難が必要になった場合、市は避難に関する情報を発令します。市民のみなさんは各情報に応じた行動をとってください。

市から避難の呼びかけをする情報の種類

警戒レベル	とるべき行動	呼びかけ	避難情報等
レベル5 氾濫の発生又は切迫	既に災害が発生または切迫している状況です。外へ避難することがかえって危険な場合は、命を守るための最善の行動をとりましょう。	〇〇川の水位が既に堤防を越え、氾濫が発生しているおそれがあります。(又は氾濫が発生しました) 〇〇地区に対し、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令しました。	緊急安全確保 (磐田市が発令)
レベル4 氾濫危険水位	危険な場所から全員避難しましょう。	〇〇川が氾濫するおそれのある水位を超え氾濫する危険性があります。 〇〇地区に対し、警戒レベル4「避難指示」を発令しました。	避難指示 (磐田市が発令)
レベル3 避難判断水位	避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児など)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしましょう。	〇〇川が増水し氾濫するおそれがあります。 〇〇地区に対し、警戒レベル3「高齢者等避難」を発令しました。	高齢者等避難 (磐田市が発令)
レベル2 氾濫注意水位	ハザードマップ等で災害が予想される地域や避難先、避難経路を確認しましょう。		大雨注意報 洪水注意報 (気象庁が発令)
レベル1 水防団待機水位	最新の防災気象情報等に留意し、災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報 (気象庁が発令)